

9－3 中国・四国地方の地殻変動

Crustal Movements in the Chugoku and Shikoku Districts

国土地理院

Geospatial Information Authority of Japan

[水準測量]

第1～3図は、室戸岬周辺の水準測量結果である。

第1図は、高知県香南市から徳島県海陽町に至る区間の水準測量結果である。前回の測量は、室戸岬先端付近の水準点5142を境に東側が約2年前の2011年11月、西側が約3年前の2010年11～12月である。室戸岬先端部の沈降が見られる。

第2図は、徳島県海陽町から美波町に至る区間の水準測量結果である。前回の測量は、約6年前の2007年8～9月である。美波町に対する海陽町側のわずかな沈降が見られる。

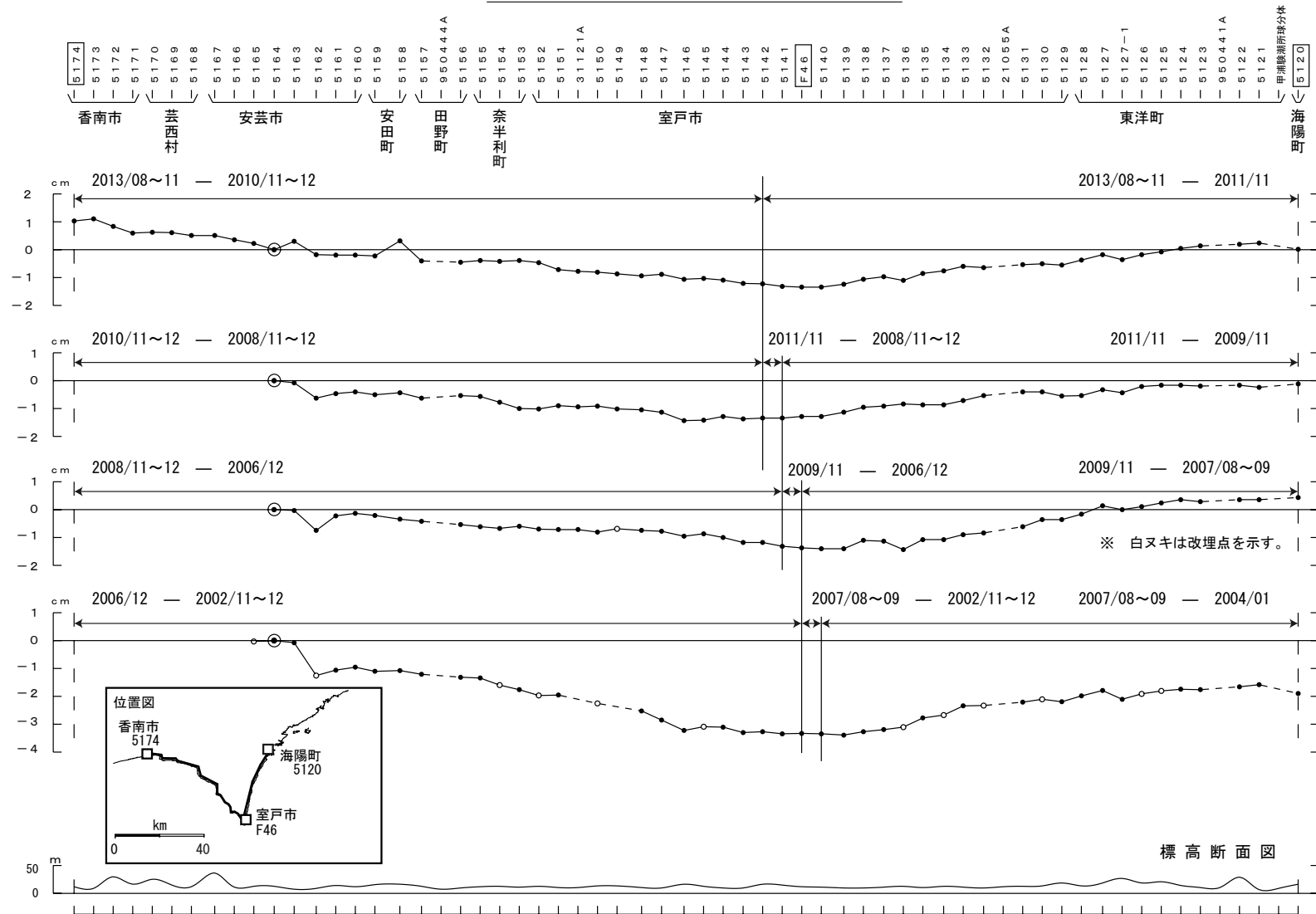
第3図は、水準測量による室戸地方の上下変動の経年変化である。今回の測量結果は、長期的な室戸岬先端の沈降傾向の延長上にあるように見える。

[高度地域基準点測量による水平ひずみ]

第4図は、2013年に中国地方で実施されたGNSS繰り返し測量結果と1985～1991年に実施された2回目の一次網測量結果の差による地殻ひずみの計算結果である。北西－南東方向ないし南北方向の縮みが観測されている。また、一部には北東－南西方向の伸びがみられる。

香南市～海陽町間の上下変動

室戸岬先端側沈降の傾向に変化は見られない。

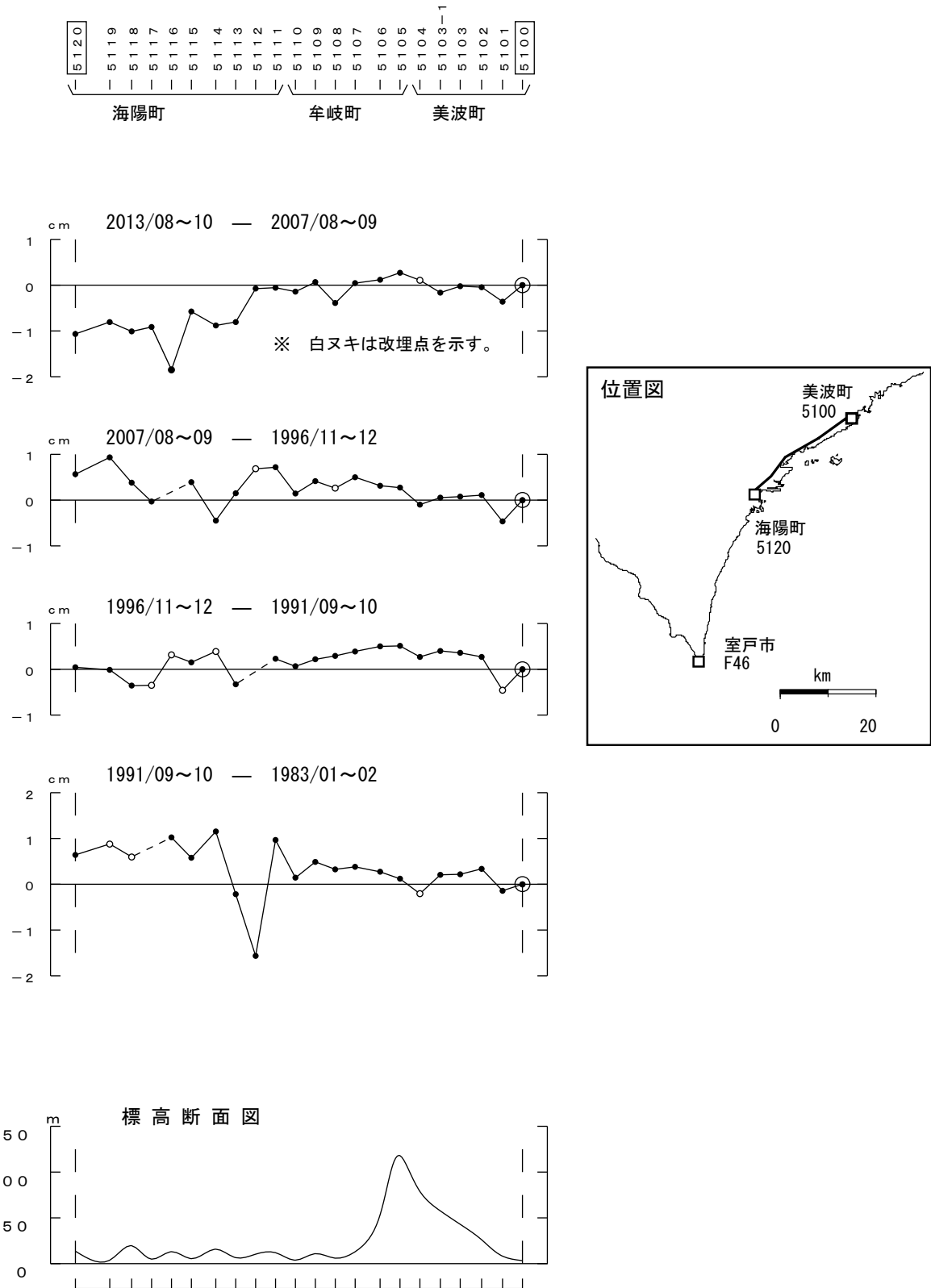


第1図 香南市～海陽町間の上下変動

Fig. 1 Results of leveling survey from Kounan city to Kaiyo town.

海陽町～美波町間の上下変動

美波町に対して海陽町側のわずかな沈降が見られる。

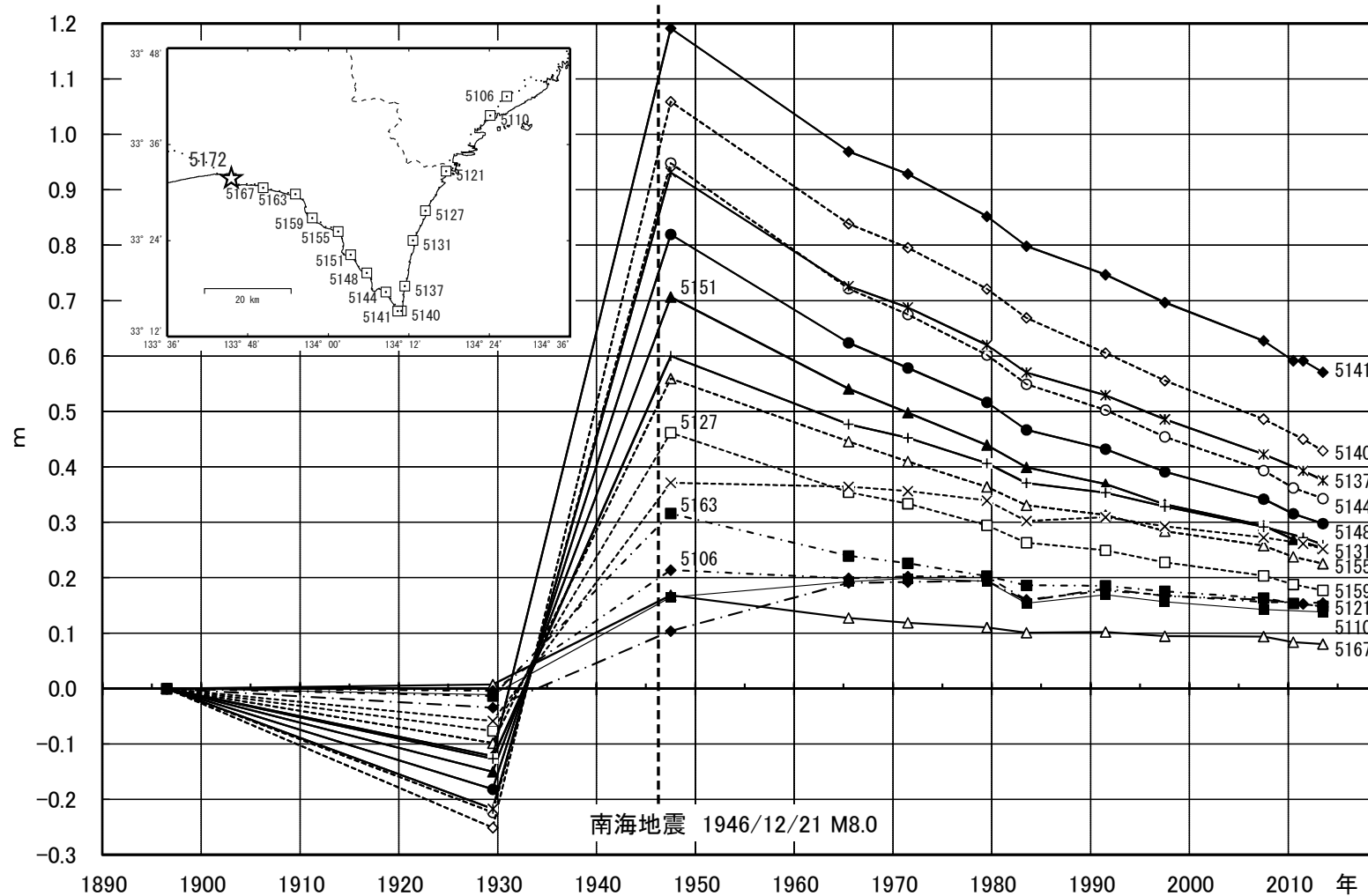


第2図 海陽町～美波町間の上下変動

Fig. 2 Results of leveling survey from Kaiyo town. to Minami town.

1896年を基準とした室戸地方の各水準点の経年変化（固定点：5172（香南市））

1950年代以降から室戸半島先端の沈降が続いている。

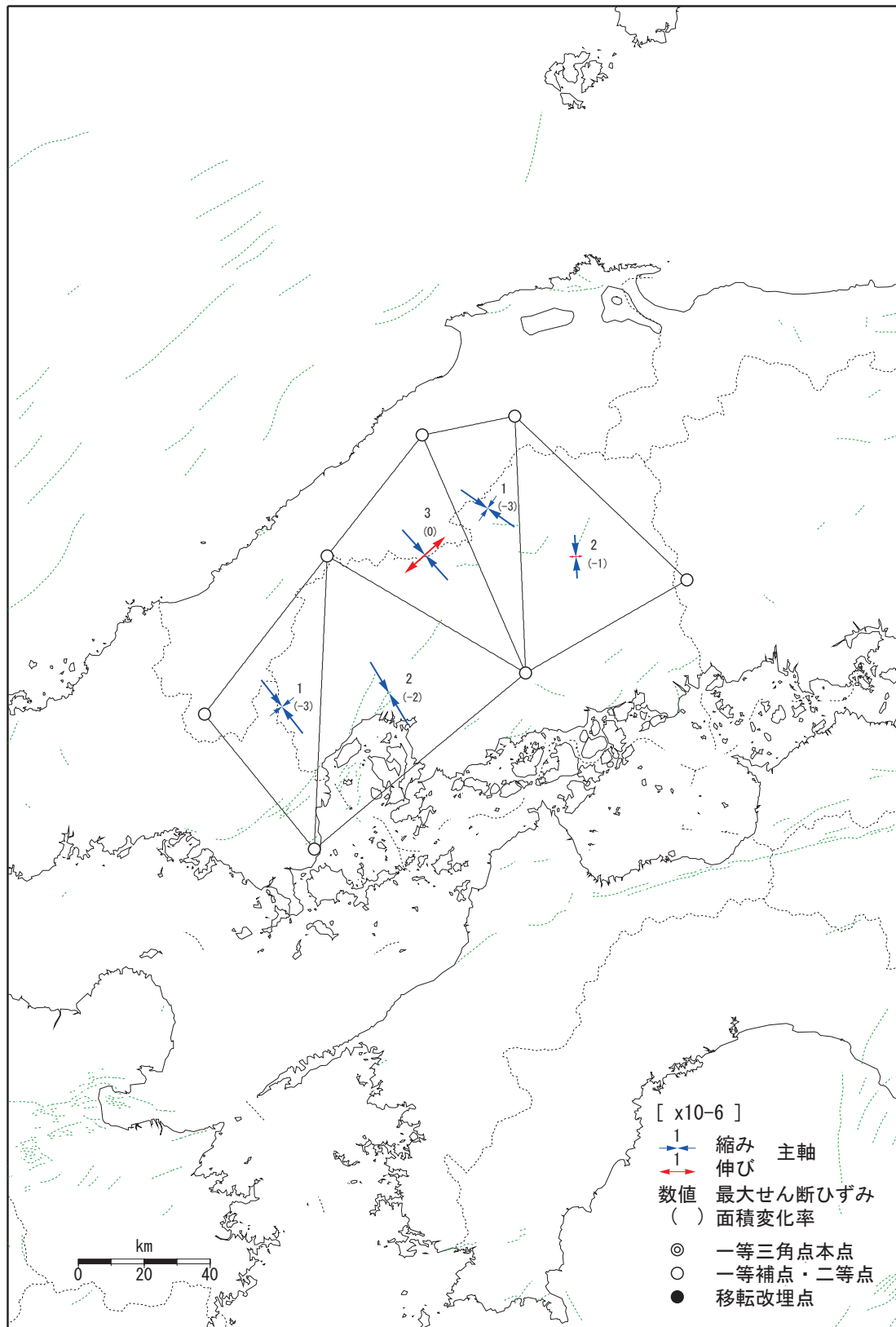


※2011年(室戸岬東側のみ)の観測は、2010年の観測点5141を仮固定に算出した値

第3図 水準点5172（香南市）を基準とした室戸岬周辺の各水準点の高さの上下変動時系列
Fig. 3 Time series of height changes of benchmarks along the leveling route on the coast of Muroto Peninsula from BM5172(Kounan) to BM5141(Muroto) referred to BM5172(Kounan).

中国地方の水平ひずみ

一次網 2 回目 (1985-1991) 高度地域基準点測量 (2013)



・緑点線は活断層 (「日本の活断層」による)

第 4 図 測地測量結果による中国地方の水平歪み

Fig. 4 Crustal horizontal strain of Chugoku district calculated from geodetic survey results.